

はじめまして。菊池 徹の弟 菊池 三郎と申します。
兄 徹が亡くなってから早や5年が過ぎてしまいました。

田島和江さんとは、長年のおつきあいで兄・徹 共々よく交遊を重ね、兄 徹の住むバンクーバーまでトライウエル社員と共に訪れたことは良き思い出になっております。

そろそろ兄の残したエッセーをトライウエルのホームページに掲載したいとの連絡を受けました。

そのエッセーの中には、まだ、知られていない第一次南極越冬隊の裏話が興味深く記されております。

兄 徹は、南極越冬後、タロジロとして有名になった「南極物語」高倉健のモデルになり、犬のドックフードの調達、スポンサー探しなどについての相談を受けたことがありました。当時、私はアメリカのペットフード会社とジョイントベンチャーを組んでおりましたので、何度かアドバイスをしたことを思い出しました。

折しも、今年は、南極点到達100周年。日本人として初めて南極点を挑んだ白瀬中尉。そして日本学術的南極観測が始まって、55年の節目になります。
また、テレビドラマでもリメイク版が放映されると伺っております。

かつての日本人が挑んだ探検の志を今こそ発揮し、見つめなおすべき時期にきていると思います。今年の東日本大震災で被災した方々のがまん強いその姿は、世界でも注目を浴びているように、かつての先陣達の日本人の気質を感じます。

情熱を抱き行動する若人に期待しつつ、これからのトライウエルのさらなるご活躍をお祈りいたします。

菊池 三郎
2011.8.27